

4年国語科単元指導計画 「場面をくらべて読もう」(全10時間)

【単元目標】

【関心・意欲・態度】

○物語のあらすじやゆみ子の家族の思いに興味をもちながら、積極的に読んだり自分の考えを発表したりしようすることができる。

【読む力】

○登場人物の様子と場面の様子を、作品の中の大事な言葉に気がつけて想像しながら読むことができる。(ウ)

○題名にこめられた作者の思いや主題について、自分なりの考えをもち、友だちの考えと比べることができる。(エ)

【身につけたい力】

〈学ぶ意欲〉 ○内容を読み深めようと何度も繰り返し音読したり、自分なりの考えを発表したりしようとする意欲

〈学ぶ力〉 ○行動や会話文に着目して登場人物の様子や気持ちを読み取る力
○場面ごとの様子の違いに着目して、場面の様子を読み取る力
○対比される物に着目して、場面や登場人物の様子を読み取る力
○仲間の考えと自分の考えを比べながら、内容の理解を深める力

〈学び得た力〉 ○前の学習で読み取った内容と比べたり、行動や会話、場面の变化を表す言葉を手がかりにしたりして作品を読み深めていく力

【5つの言語意識】

相手意識	目的意識	場面・状況意識	方法意識	評価意識
教室の友達に	作品の主題を読み取ったり、物語の世界を想像しながら読んだりするために	教材文を読み取る場面	キーワードや会話文や行動、場面の様子を表す言葉に着目することで	キーワードや会話文、行動、場面の様子を表す言葉に着目して読み取ったり、発言したりしているか

時	ねらい	学習活動	評価規準	学ぶ意欲・学ぶ力・学び得た力を育てるために
1	物語作品を学習するためには場面をくらべたり、物語の主題に関わるようなキーワードに着目したりしながら読んでいくとよいことがわかり、心に残ったことやなぜだろうと思ったことを交流しながら作品を読み深めたいという意欲をもつことができる。	<ol style="list-style-type: none"> 「一つの花」という題名を提示し、どんな意味なのか想像する。 どんな話なのか想像をふくらませながら、実際はどんな話なのか実際に読んでみることを投げかけて、課題を設定する。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">「一つの花」に気がつけながら読もう。</p> <p>〈自分学び〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 教師の範読を聞く。 自分で黙読して、感じたことをノートにまとめる。 <p>〈学び合い交流会〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ノートに書いた疑問や心に残ったことを発表して交流する。 5つの場面に分け、登場人物を確認して、「一つ」「一つの花」に着目しながら作品を読み深めていくことを確認する。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">とても悲しそうなお話だな。ゆみ子の生まれた時代ではなくてよかった。一つの花にはどんな意味があるのか考えてみたい。</p> <p>〈ふり回り〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ふり回りの項目についてまとめの感想と自己評価を行う。 教師の評価を聞き、次時の学習に願いをもつ。 	<p>【関心・意欲・態度】</p> <p>物語作品を学習するためには場面をくらべたり、物語の主題に関わるようなキーワードに着目したりしながら読んでいくとよいことがわかり、心に残ったことやなぜだろうと思ったことを交流しながら作品を読み深めたいという意欲をもっている。</p>	<p>【学ぶ意欲】</p> <p>これから読んでいこうという意欲を持たせるために、「一つの花」という題名を取り上げ、題名には深い意味があることを知らせたり「一つ」の言葉がたくさん使われていることを確認したりして、その違いや意味に目を向けるように投げかける。</p>
2	作品を読み深めるためにはまずすらすら読めるようになることが必要であるとわかり、いろいろな読み方練習を通して、つまらずにすらすらと音読することができる。	<ol style="list-style-type: none"> 前時のふり回りの紹介を聞いて、考え方や学び方のよさを知る。 疑問を解決したり、作品を読み深めたりするためには、すらすら音読できることが必要条件であることを知り、課題を設定する。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">「一つの花」をすらすら音読できるようにしよう。</p> <p>〈自分学び〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 一人で音読する。 <p>〈学び合い交流会〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 一斉に丸読みをして、読み方を確認する。 ペアで丸読みをする。 グループで丸読みをする。 再度一斉に丸読みをして、読み方を確認する。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">つまらないで読めるようになった。漢字の読み方も大丈夫。もっとすらすら読んで、お父さんやお母さんの気持ちが分かるようになりたい。</p> <p>〈ふり回り〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ふり回りの項目についてまとめの感想と自己評価を行う。 教師の評価を聞き、次時の学習に願いをもつ。 	<p>【読む力】</p> <p>作品を読み深めるためにはまずすらすら読めるようになることが必要であるとわかり、いろいろな読み方練習を通して、つまらずにすらすらと音読している。</p>	<p>【学ぶ力】</p> <p>すらすらと読むために、時間いっぱいあきることなく、一文読みや一斉読みを、ペアでまたはグループ、一斉でなどさまざまな読み方で練習する。</p>

学習の見通しをもつ学級T-T

<p>3</p> <p>確かな力をつける習熟度別少人数指導</p>	<p>1 場面の様子を読み取るためには、「一つだけ」というキーワードや食べ物などの生活を表す言葉に着目するとよいことが分かり、ゆみ子とお母さんの「一つだけ」には「一つしかない」の違いがあることを通して家族が置かれていた苦しい生活の様子を読み取ることができる。</p>	<p>1 前時のふり返りの紹介を聞いて、学び方のよさを知る。</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="386 159 826 323"> <p>【はばたきコース】</p> <p>2 ゆみ子とお母さんの「一つだけ」の言葉に着目し、意味の違いに目を向けて課題を設定する。</p> </td> <td data-bbox="826 159 1290 323"> <p>【かがやきコース】</p> <p>2 挿絵の話を説明する。挿絵を参考にしながら、「一つ」に目を向けて課題を設定する。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="386 323 1290 378"> <p>ゆみ子の「一つだけ」とお母さんの「一つだけ」はどこがちがうのだろう。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="386 378 826 609"> <p>〈自分学び〉</p> <p>3 物語文を読むときの読み方を確認する。</p> <p>4 線を引きながら1場面を音読して、自分の考えをノートにまとめる。</p> </td> <td data-bbox="826 378 1290 609"> <p>〈自分学び〉</p> <p>3 「一つ」・行動や会話文を表す表現に目を向けることを丁寧に確認し、線を引きながら音読する。</p> <p>4 その言葉から自分の考えをノートに書く。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="386 609 1290 773"> <p>・「一つだけちょうだい。」 ・おまんじゅうだの、キャラメルだの、チョコレートだの、そんな物はどこへ行ってありませんでした。 ・おやつどころでは ・配給 ・おいもや豆やかぼちゃ ・いつもおなかをすかしていた ・いくらでもほしがる ・「一つだけー。」</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="386 773 826 938"> <p>〈学び合い交流会〉</p> <p>5 仲間の意見と関わらせて自分の考えを発表して交流する。</p> </td> <td data-bbox="826 773 1290 938"> <p>〈学び合い交流会〉</p> <p>5 見つけた表現を全員で確認する。表現ごとに自分の考えを発表して交流する。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="386 938 1290 1130"> <p>ゆみ子の「一つだけ」とお母さんの「一つだけ」では、意味が違うことが分かった。ゆみ子の生きた時代はとてもまずしくて満足に食べることもできず、命の危険もあった。少しでもたくさん食べたいとゆみ子なりに考えて「一つだけ」を言っていた。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="386 1130 1290 1256"> <p>〈ふり返り〉</p> <p>6 ふり返りの項目についてまとめの感想と自己評価を行う。</p> <p>7 教師の評価を聞き、次時の学習に願いをもつ。</p> </td> </tr> </table>	<p>【はばたきコース】</p> <p>2 ゆみ子とお母さんの「一つだけ」の言葉に着目し、意味の違いに目を向けて課題を設定する。</p>	<p>【かがやきコース】</p> <p>2 挿絵の話を説明する。挿絵を参考にしながら、「一つ」に目を向けて課題を設定する。</p>	<p>ゆみ子の「一つだけ」とお母さんの「一つだけ」はどこがちがうのだろう。</p>		<p>〈自分学び〉</p> <p>3 物語文を読むときの読み方を確認する。</p> <p>4 線を引きながら1場面を音読して、自分の考えをノートにまとめる。</p>	<p>〈自分学び〉</p> <p>3 「一つ」・行動や会話文を表す表現に目を向けることを丁寧に確認し、線を引きながら音読する。</p> <p>4 その言葉から自分の考えをノートに書く。</p>	<p>・「一つだけちょうだい。」 ・おまんじゅうだの、キャラメルだの、チョコレートだの、そんな物はどこへ行ってありませんでした。 ・おやつどころでは ・配給 ・おいもや豆やかぼちゃ ・いつもおなかをすかしていた ・いくらでもほしがる ・「一つだけー。」</p>		<p>〈学び合い交流会〉</p> <p>5 仲間の意見と関わらせて自分の考えを発表して交流する。</p>	<p>〈学び合い交流会〉</p> <p>5 見つけた表現を全員で確認する。表現ごとに自分の考えを発表して交流する。</p>	<p>ゆみ子の「一つだけ」とお母さんの「一つだけ」では、意味が違うことが分かった。ゆみ子の生きた時代はとてもまずしくて満足に食べることもできず、命の危険もあった。少しでもたくさん食べたいとゆみ子なりに考えて「一つだけ」を言っていた。</p>		<p>〈ふり返り〉</p> <p>6 ふり返りの項目についてまとめの感想と自己評価を行う。</p> <p>7 教師の評価を聞き、次時の学習に願いをもつ。</p>		<p>読む力</p> <p>1 場面の様子を読み取るためには、「一つだけ」というキーワードや食べ物などの生活を表す言葉に着目するとよいことが分かり、ゆみ子とお母さんの「一つだけ」には「一つだけと言えはもらえる」「一つしかない」の違いがあることを通して家族が置かれていた苦しい生活の様子を読み取っている。</p>	<p>学ぶ力</p> <p>「一つ」にこだわって読み取りを進めるために、「一つだけ」の言葉に線を引かせたり、「一つ」に着目した発表を価値付けたりする。</p>
<p>【はばたきコース】</p> <p>2 ゆみ子とお母さんの「一つだけ」の言葉に着目し、意味の違いに目を向けて課題を設定する。</p>	<p>【かがやきコース】</p> <p>2 挿絵の話を説明する。挿絵を参考にしながら、「一つ」に目を向けて課題を設定する。</p>																	
<p>ゆみ子の「一つだけ」とお母さんの「一つだけ」はどこがちがうのだろう。</p>																		
<p>〈自分学び〉</p> <p>3 物語文を読むときの読み方を確認する。</p> <p>4 線を引きながら1場面を音読して、自分の考えをノートにまとめる。</p>	<p>〈自分学び〉</p> <p>3 「一つ」・行動や会話文を表す表現に目を向けることを丁寧に確認し、線を引きながら音読する。</p> <p>4 その言葉から自分の考えをノートに書く。</p>																	
<p>・「一つだけちょうだい。」 ・おまんじゅうだの、キャラメルだの、チョコレートだの、そんな物はどこへ行ってありませんでした。 ・おやつどころでは ・配給 ・おいもや豆やかぼちゃ ・いつもおなかをすかしていた ・いくらでもほしがる ・「一つだけー。」</p>																		
<p>〈学び合い交流会〉</p> <p>5 仲間の意見と関わらせて自分の考えを発表して交流する。</p>	<p>〈学び合い交流会〉</p> <p>5 見つけた表現を全員で確認する。表現ごとに自分の考えを発表して交流する。</p>																	
<p>ゆみ子の「一つだけ」とお母さんの「一つだけ」では、意味が違うことが分かった。ゆみ子の生きた時代はとてもまずしくて満足に食べることもできず、命の危険もあった。少しでもたくさん食べたいとゆみ子なりに考えて「一つだけ」を言っていた。</p>																		
<p>〈ふり返り〉</p> <p>6 ふり返りの項目についてまとめの感想と自己評価を行う。</p> <p>7 教師の評価を聞き、次時の学習に願いをもつ。</p>																		
<p>4</p>	<p>2 場面の様子を読み取るためには、お父さんとお母さんの会話や行動を表す言葉に着目するとよいことがわかり、「めちやくちゃに」高い高いするお父さんのゆみ子を思う気持ちを読み取ることができる。</p>	<p>1 前時のふり返りの紹介を聞いて、学び方のよさを知る。</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="386 1295 826 1487"> <p>【はばたきコース】</p> <p>2 お父さんとお母さんの「一つだけ」の言葉に着目し、意味の違いに目を向けて課題を設定する。</p> </td> <td data-bbox="826 1295 1290 1487"> <p>【かがやきコース】</p> <p>2 挿絵の話を説明する。挿絵を参考にしながら、「一つ」に目を向けて課題を設定する。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="386 1487 1290 1569"> <p>「一つだけちょうだい」というゆみ子のことを考えるお父さんはどんな気持ちだろう。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="386 1569 826 1832"> <p>〈自分学び〉</p> <p>3 物語文を読むときの読み方を確認する。</p> <p>4 線を引きながら1場面を音読して、自分の考えをノートにまとめる。</p> </td> <td data-bbox="826 1569 1290 1832"> <p>〈自分学び〉</p> <p>3 「一つ」・行動や会話文を表す表現に目を向けることを丁寧に確認し、線を引きながら音読する。</p> <p>4 その言葉から自分の考えをノートに書く。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="386 1832 1290 1997"> <p>・「なんてかわいそう子でしょうね。…。」 ・「この子は、一生…。一つだけのいも、一つだけのにぎり飯、…。」 ・そんなとき、お父さんは、決まってゆみ子をめちやくちゃに高い高いするのです。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="386 1997 826 2162"> <p>〈学び合い交流会〉</p> <p>5 仲間の意見と関わらせて自分の考えを発表して交流する。</p> </td> <td data-bbox="826 1997 1290 2162"> <p>〈学び合い交流会〉</p> <p>5 見つけた表現を全員で確認する。表現ごとに自分の考えを発表して交流する。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="386 2162 1290 2354"> <p>お父さんの気持ちはとても悲しいものだった。食べ物あげたくてもあげられないどうにもならない気持ちから、めちやくちゃに高い高いをしたということが分かった。高い高いしかしてあげられないから、めちやくちゃにしてあげているのだということが分かった。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="386 2354 1290 2469"> <p>〈ふり返り〉</p> <p>6 ふり返りの項目についてまとめの感想と自己評価を行う。</p> <p>7 教師の評価を聞き、次時の学習に願いをもつ。</p> </td> </tr> </table>	<p>【はばたきコース】</p> <p>2 お父さんとお母さんの「一つだけ」の言葉に着目し、意味の違いに目を向けて課題を設定する。</p>	<p>【かがやきコース】</p> <p>2 挿絵の話を説明する。挿絵を参考にしながら、「一つ」に目を向けて課題を設定する。</p>	<p>「一つだけちょうだい」というゆみ子のことを考えるお父さんはどんな気持ちだろう。</p>		<p>〈自分学び〉</p> <p>3 物語文を読むときの読み方を確認する。</p> <p>4 線を引きながら1場面を音読して、自分の考えをノートにまとめる。</p>	<p>〈自分学び〉</p> <p>3 「一つ」・行動や会話文を表す表現に目を向けることを丁寧に確認し、線を引きながら音読する。</p> <p>4 その言葉から自分の考えをノートに書く。</p>	<p>・「なんてかわいそう子でしょうね。…。」 ・「この子は、一生…。一つだけのいも、一つだけのにぎり飯、…。」 ・そんなとき、お父さんは、決まってゆみ子をめちやくちゃに高い高いするのです。</p>		<p>〈学び合い交流会〉</p> <p>5 仲間の意見と関わらせて自分の考えを発表して交流する。</p>	<p>〈学び合い交流会〉</p> <p>5 見つけた表現を全員で確認する。表現ごとに自分の考えを発表して交流する。</p>	<p>お父さんの気持ちはとても悲しいものだった。食べ物あげたくてもあげられないどうにもならない気持ちから、めちやくちゃに高い高いをしたということが分かった。高い高いしかしてあげられないから、めちやくちゃにしてあげているのだということが分かった。</p>		<p>〈ふり返り〉</p> <p>6 ふり返りの項目についてまとめの感想と自己評価を行う。</p> <p>7 教師の評価を聞き、次時の学習に願いをもつ。</p>		<p>読む力</p> <p>2 場面の様子を読み取るためには、お父さんとお母さんの会話や行動を表す言葉に着目するとよいことがわかり、「めちやくちゃに」高い高いするお父さんのゆみ子を思う気持ちを読み取っている。</p>	<p>学ぶ力</p> <p>物語を読むときには、登場人物の行動を表す言葉や会話の文に着目して考えるとよいことを自分学びでは確認して、その読み方を使っている子を朱書きや声かけで価値付ける。さらに学び合い交流会で「一つ」にこだわって考えたり、めちやくちゃに高い高いなどの行動を表す言葉に着目して発言したりしている姿を価値付ける。</p>
<p>【はばたきコース】</p> <p>2 お父さんとお母さんの「一つだけ」の言葉に着目し、意味の違いに目を向けて課題を設定する。</p>	<p>【かがやきコース】</p> <p>2 挿絵の話を説明する。挿絵を参考にしながら、「一つ」に目を向けて課題を設定する。</p>																	
<p>「一つだけちょうだい」というゆみ子のことを考えるお父さんはどんな気持ちだろう。</p>																		
<p>〈自分学び〉</p> <p>3 物語文を読むときの読み方を確認する。</p> <p>4 線を引きながら1場面を音読して、自分の考えをノートにまとめる。</p>	<p>〈自分学び〉</p> <p>3 「一つ」・行動や会話文を表す表現に目を向けることを丁寧に確認し、線を引きながら音読する。</p> <p>4 その言葉から自分の考えをノートに書く。</p>																	
<p>・「なんてかわいそう子でしょうね。…。」 ・「この子は、一生…。一つだけのいも、一つだけのにぎり飯、…。」 ・そんなとき、お父さんは、決まってゆみ子をめちやくちゃに高い高いするのです。</p>																		
<p>〈学び合い交流会〉</p> <p>5 仲間の意見と関わらせて自分の考えを発表して交流する。</p>	<p>〈学び合い交流会〉</p> <p>5 見つけた表現を全員で確認する。表現ごとに自分の考えを発表して交流する。</p>																	
<p>お父さんの気持ちはとても悲しいものだった。食べ物あげたくてもあげられないどうにもならない気持ちから、めちやくちゃに高い高いをしたということが分かった。高い高いしかしてあげられないから、めちやくちゃにしてあげているのだということが分かった。</p>																		
<p>〈ふり返り〉</p> <p>6 ふり返りの項目についてまとめの感想と自己評価を行う。</p> <p>7 教師の評価を聞き、次時の学習に願いをもつ。</p>																		

<p>5</p> <p>確かな力をつける習熟度別少人数指導</p>	<p>3 場面を読み取るためには、お母さんの行動や周りの人々とゆみ子の家族の違いに着目するとよいことがわかり、「まるで戦争になんか行く人ではないかのよう」にいるゆみ子の家族の寂しい様子を読み取ることができる。</p>	<p>1 前時のふり返りの紹介を聞いて、学び方のよさを知る。</p> <table border="1" data-bbox="405 150 1265 343"> <tr> <td data-bbox="405 150 830 343"> <p>【はばたきコース】</p> <p>2 ゆみ子の「一つだけ～」の言葉を取り上げ、さらに駅にいる人とゆみ子の家族の違いに目を向けて課題を設定する。</p> </td> <td data-bbox="830 150 1265 343"> <p>【かがやきコース】</p> <p>2 挿絵の話を説明する。挿絵を参考にしながら、「一つ」と駅の様子に目を向けて課題を設定する。</p> </td> </tr> </table> <p>お父さんが戦争に行く時のゆみ子の家族の気持ちを考えよう。</p> <table border="1" data-bbox="405 411 1265 644"> <tr> <td data-bbox="405 411 830 644"> <p>〈自分学び〉</p> <p>3 物語文を読むときの読み方を確認する。</p> <p>4 線を引きながら3場面を音読して、自分の考えをノートにまとめる。</p> </td> <td data-bbox="830 411 1265 644"> <p>〈自分学び〉</p> <p>3 「一つ」・行動や会話文を表す表現に目を向けることを丁寧に確認し、線を引きながら音読する。</p> <p>4 その言葉から自分の考えをノートに書く。</p> </td> </tr> </table> <p>・ほかにも戦争に行く人があって、…ときどきばんざいの声が起こりました。・たえず勇ましい軍歌、・ほかに見送りのないお父さん、・小さくばんざい、・まるで戦争になんか行く人ではないかのよう</p> <table border="1" data-bbox="405 782 1265 946"> <tr> <td data-bbox="405 782 830 946"> <p>〈学び合い交流会〉</p> <p>5 仲間の意見と関わらせて自分の考えを発表して交流する。</p> </td> <td data-bbox="830 782 1265 946"> <p>〈学び合い交流会〉</p> <p>5 見つけた表現を全員で確認する。表現ごとに自分の考えを発表して交流する。</p> </td> </tr> </table> <p>ゆみ子の家族は、プラットホームのはしにいて、小さくばんざいしていたり歌を歌っていたりと、他の人たちとは全く正反対だ。まるで戦争になんか行く人ではないかのようにとあるので、ひっそりとしている感じがする。</p> <p>〈ふり返り〉</p> <p>6 ふり返りの項目についてまとめの感想と自己評価を行う。</p> <p>7 教師の評価を聞き、次時の学習に願いをもつ。</p>	<p>【はばたきコース】</p> <p>2 ゆみ子の「一つだけ～」の言葉を取り上げ、さらに駅にいる人とゆみ子の家族の違いに目を向けて課題を設定する。</p>	<p>【かがやきコース】</p> <p>2 挿絵の話を説明する。挿絵を参考にしながら、「一つ」と駅の様子に目を向けて課題を設定する。</p>	<p>〈自分学び〉</p> <p>3 物語文を読むときの読み方を確認する。</p> <p>4 線を引きながら3場面を音読して、自分の考えをノートにまとめる。</p>	<p>〈自分学び〉</p> <p>3 「一つ」・行動や会話文を表す表現に目を向けることを丁寧に確認し、線を引きながら音読する。</p> <p>4 その言葉から自分の考えをノートに書く。</p>	<p>〈学び合い交流会〉</p> <p>5 仲間の意見と関わらせて自分の考えを発表して交流する。</p>	<p>〈学び合い交流会〉</p> <p>5 見つけた表現を全員で確認する。表現ごとに自分の考えを発表して交流する。</p>	<p>読む力</p> <p>3 場面を読み取るためには、お母さんの行動や周りの人々とゆみ子の家族の違いに着目するとよいことがわかり、「まるで戦争になんか行く人ではないかのよう」にいるゆみ子の家族の寂しい様子を読み取っている。</p>	<p>学ぶ力</p> <p>物語を読み深めるために、登場人物の行動を表す言葉や会話の文に着目して読んでいくほかに、自分学びの時に対比されているものに着目する読み方があることを確認する。</p> <p>また、交流する時には対比を取り入れた発表をした子のとらえ方を価値付けている。</p>
<p>【はばたきコース】</p> <p>2 ゆみ子の「一つだけ～」の言葉を取り上げ、さらに駅にいる人とゆみ子の家族の違いに目を向けて課題を設定する。</p>	<p>【かがやきコース】</p> <p>2 挿絵の話を説明する。挿絵を参考にしながら、「一つ」と駅の様子に目を向けて課題を設定する。</p>									
<p>〈自分学び〉</p> <p>3 物語文を読むときの読み方を確認する。</p> <p>4 線を引きながら3場面を音読して、自分の考えをノートにまとめる。</p>	<p>〈自分学び〉</p> <p>3 「一つ」・行動や会話文を表す表現に目を向けることを丁寧に確認し、線を引きながら音読する。</p> <p>4 その言葉から自分の考えをノートに書く。</p>									
<p>〈学び合い交流会〉</p> <p>5 仲間の意見と関わらせて自分の考えを発表して交流する。</p>	<p>〈学び合い交流会〉</p> <p>5 見つけた表現を全員で確認する。表現ごとに自分の考えを発表して交流する。</p>									
<p>6</p>	<p>4 場面を読み取るためには、お父さんやお母さんの行動や言葉に着目するとよいことがわかり、「一つだけのお花、大事にするんだよう」や「にっこり笑うと、何も言わずに…」の言葉などをもとにゆみ子の幸せを願う思いを読み取ることができる。</p>	<p>1 前時のふり返りの紹介を聞いて、学び方のよさを知る。</p> <table border="1" data-bbox="405 1262 1265 1426"> <tr> <td data-bbox="405 1262 830 1426"> <p>【はばたきコース】</p> <p>2 ゆみ子とお父さんの「一つだけ」の言葉に着目し、意味の違いに目を向けて課題を設定する。</p> </td> <td data-bbox="830 1262 1265 1426"> <p>【かがやきコース】</p> <p>2 挿絵の話を説明する。挿絵を参考にしながら、「一つ」に目を向けて課題を設定する。</p> </td> </tr> </table> <p>「一つだけのお花、大事にするんだよ。」と言ったお父さんはどんな気持ちだろう。</p> <table border="1" data-bbox="405 1509 1265 1756"> <tr> <td data-bbox="405 1509 830 1756"> <p>〈自分学び〉</p> <p>3 物語文を読むときの読み方を確認する。</p> <p>4 線を引きながら4場面を音読して、自分の考えをノートにまとめる。</p> </td> <td data-bbox="830 1509 1265 1756"> <p>〈自分学び〉</p> <p>3 「一つ」・行動や会話文を表す表現に目を向けることを丁寧に確認し、線を引きながら音読する。</p> <p>4 その言葉から自分の考えをノートに書く。</p> </td> </tr> </table> <p>・プラットホームのはしっぼの、ごみすて場のような所に、わすれられたようにさいていたコスモス、「さあ、一つだけあげよう。一つだけのお花、大事にするんだよう。」・にっこり笑うと、何も言わずに、汽車に乗って行ってしまいました。・ゆみ子のにぎっている一つの花を見つめながらー。</p> <table border="1" data-bbox="405 1934 1265 2099"> <tr> <td data-bbox="405 1934 830 2099"> <p>〈学び合い交流会〉</p> <p>5 仲間の意見と関わらせて自分の考えを発表して交流する。</p> </td> <td data-bbox="830 1934 1265 2099"> <p>〈学び合い交流会〉</p> <p>5 見つけた表現を全員で確認する。表現ごとに自分の考えを発表して交流する。</p> </td> </tr> </table> <p>一つだけちょうだいと言えは何でももらえと思っていたゆみ子に、お父さんはメッセージを送ったことが分かった。コスモスはどんな場所にも強く強い花だからこそ、これからの苦しい生活にも希望をもって生きてほしいと願っていたのだと分かった。</p> <p>〈ふり返り〉</p> <p>6 ふり返りの項目についてまとめの感想と自己評価を行う。</p> <p>7 教師の評価を聞き、次時の学習に願いをもつ。</p>	<p>【はばたきコース】</p> <p>2 ゆみ子とお父さんの「一つだけ」の言葉に着目し、意味の違いに目を向けて課題を設定する。</p>	<p>【かがやきコース】</p> <p>2 挿絵の話を説明する。挿絵を参考にしながら、「一つ」に目を向けて課題を設定する。</p>	<p>〈自分学び〉</p> <p>3 物語文を読むときの読み方を確認する。</p> <p>4 線を引きながら4場面を音読して、自分の考えをノートにまとめる。</p>	<p>〈自分学び〉</p> <p>3 「一つ」・行動や会話文を表す表現に目を向けることを丁寧に確認し、線を引きながら音読する。</p> <p>4 その言葉から自分の考えをノートに書く。</p>	<p>〈学び合い交流会〉</p> <p>5 仲間の意見と関わらせて自分の考えを発表して交流する。</p>	<p>〈学び合い交流会〉</p> <p>5 見つけた表現を全員で確認する。表現ごとに自分の考えを発表して交流する。</p>	<p>読む力</p> <p>4 場面を読み取るためには、お父さんやお母さんの行動や言葉に着目するとよいことがわかり、「一つだけのお花、大事にするんだよう」や「にっこり笑うと、何も言わずに…」の言葉などをもとにゆみ子の幸せを願う思いを読み取っている。</p>	<p>学ぶ力</p> <p>物語を読むときには、登場人物の行動を表す言葉や会話の文に着目して考えるよいことを自分学びでは確認して、その読み方を使っている子を朱書きや声かけで価値付ける。</p> <p>さらに交流会では、それらの言葉に着目して発言していることを価値付けている。</p>
<p>【はばたきコース】</p> <p>2 ゆみ子とお父さんの「一つだけ」の言葉に着目し、意味の違いに目を向けて課題を設定する。</p>	<p>【かがやきコース】</p> <p>2 挿絵の話を説明する。挿絵を参考にしながら、「一つ」に目を向けて課題を設定する。</p>									
<p>〈自分学び〉</p> <p>3 物語文を読むときの読み方を確認する。</p> <p>4 線を引きながら4場面を音読して、自分の考えをノートにまとめる。</p>	<p>〈自分学び〉</p> <p>3 「一つ」・行動や会話文を表す表現に目を向けることを丁寧に確認し、線を引きながら音読する。</p> <p>4 その言葉から自分の考えをノートに書く。</p>									
<p>〈学び合い交流会〉</p> <p>5 仲間の意見と関わらせて自分の考えを発表して交流する。</p>	<p>〈学び合い交流会〉</p> <p>5 見つけた表現を全員で確認する。表現ごとに自分の考えを発表して交流する。</p>									

7	<p>5場面を読み取るためには、10年後と戦時中の生活の違いに着目するとよいことがわかり、生活の違いや前の場面の学習内容からゆみ子やお母さん、お父さんの気持ちを文章の言葉をもとに想像しながら読むことができる。</p>	<p>1 前時のふり返りの紹介を聞いて、学び方のよさを知る。</p> <table border="1" data-bbox="415 164 1265 315"> <tr> <td data-bbox="415 164 840 315"> <p>【はばたきコース】</p> <p>2 今までずっとあった「一つだけ」の言葉に着目し、5場面にはないことから課題を設定する。</p> </td> <td data-bbox="840 164 1265 315"> <p>【かがやきコース】</p> <p>2 挿絵の話を説明する。挿絵を参考にしながら、「一つ」に目を向けて課題を設定する。</p> </td> </tr> </table> <p>5場面は今までの場面とのちがいは何だろう。</p> <table border="1" data-bbox="415 384 1265 617"> <tr> <td data-bbox="415 384 840 617"> <p>〈自分学び〉</p> <p>3 物語文を読むときの読み方を確認する。</p> <p>4 線を引きながら5場面を音読して、自分の考えをノートにまとめる。</p> </td> <td data-bbox="840 384 1265 617"> <p>〈自分学び〉</p> <p>3 「一つ」・行動や会話文を表す表現に目を向けることを丁寧に確認し、線を引きながら音読する。</p> <p>4 その言葉から自分の考えをノートに書く。</p> </td> </tr> </table> <p>・10年の年月、・お父さんの存在、・コスモスの花、・ミシンの音、・お肉とお魚、・ゆみ子の成長、・買い物、・お母さんとゆみ子の生活、・戦争と平和</p> <table border="1" data-bbox="415 686 1265 850"> <tr> <td data-bbox="415 686 840 850"> <p>〈学び合い交流会〉</p> <p>5 仲間の意見と関わらせて自分の考えを発表して交流する。</p> </td> <td data-bbox="840 686 1265 850"> <p>〈学び合い交流会〉</p> <p>5 見つけた表現を全員で確認する。表現ごとに自分の考えを発表して交流する。</p> </td> </tr> </table> <p>10年の間にゆみ子とお母さんの生活は大きく変わっていることが分かった。コスモスの花がいっぱいにさいていることは、きっとお父さんの願いを受けとめたからなんだろうな。戦争と平和の差が一番大きい。</p> <p>〈ふり返り〉</p> <p>6 ふり返りの項目についてまとめの感想と自己評価を行う。</p> <p>7 教師の評価を聞き、次時の学習に願いをもつ。</p>	<p>【はばたきコース】</p> <p>2 今までずっとあった「一つだけ」の言葉に着目し、5場面にはないことから課題を設定する。</p>	<p>【かがやきコース】</p> <p>2 挿絵の話を説明する。挿絵を参考にしながら、「一つ」に目を向けて課題を設定する。</p>	<p>〈自分学び〉</p> <p>3 物語文を読むときの読み方を確認する。</p> <p>4 線を引きながら5場面を音読して、自分の考えをノートにまとめる。</p>	<p>〈自分学び〉</p> <p>3 「一つ」・行動や会話文を表す表現に目を向けることを丁寧に確認し、線を引きながら音読する。</p> <p>4 その言葉から自分の考えをノートに書く。</p>	<p>〈学び合い交流会〉</p> <p>5 仲間の意見と関わらせて自分の考えを発表して交流する。</p>	<p>〈学び合い交流会〉</p> <p>5 見つけた表現を全員で確認する。表現ごとに自分の考えを発表して交流する。</p>	<p>読む力</p> <p>5場面を読み取るためには、10年後と戦時中の生活の違いに着目するとよいことがわかり、生活の違いや前の場面の学習内容からゆみ子やお母さん、お父さんの気持ちを文章の言葉をもとに想像しながら読んでいる。</p>	<p>学ぶ力</p> <p>物語を読み深めるために、登場人物の行動を表す言葉や会話の文に着目して読んでいくほかに、自分学びのときに対比されているものに注目する読み方があることを再度確認する。</p> <p>また、交流する時には対比を取り入れた発表をした子とらえ方を価値付ける。</p>
<p>【はばたきコース】</p> <p>2 今までずっとあった「一つだけ」の言葉に着目し、5場面にはないことから課題を設定する。</p>	<p>【かがやきコース】</p> <p>2 挿絵の話を説明する。挿絵を参考にしながら、「一つ」に目を向けて課題を設定する。</p>									
<p>〈自分学び〉</p> <p>3 物語文を読むときの読み方を確認する。</p> <p>4 線を引きながら5場面を音読して、自分の考えをノートにまとめる。</p>	<p>〈自分学び〉</p> <p>3 「一つ」・行動や会話文を表す表現に目を向けることを丁寧に確認し、線を引きながら音読する。</p> <p>4 その言葉から自分の考えをノートに書く。</p>									
<p>〈学び合い交流会〉</p> <p>5 仲間の意見と関わらせて自分の考えを発表して交流する。</p>	<p>〈学び合い交流会〉</p> <p>5 見つけた表現を全員で確認する。表現ごとに自分の考えを発表して交流する。</p>									
8	<p>音読で物語の世界を表現するためには、学習した場面の大切な表現をもとに声の大きさや表情、速さなどを工夫すればよいことに気づき、自分が選んだ場面を音読で表現することができる。</p>	<p>1 前時のふり返りの紹介を聞いて、考え方や学び方のよさを知る。</p> <p>2 前時までの学習を活かして音読するためには、音読の仕方に工夫をすることが大切であることを知り、課題を設定する。</p> <p>好きな場面を様子がよく伝わるように音読練習しよう。</p> <p>〈自分学び〉</p> <p>3 音読で表現する時にどんな工夫があるとよいか確認する。(表情・速さ・声の大きさなど)</p> <p>4 場面を選択して、一人で音読する。</p> <p>〈学び合い交流会〉</p> <p>5 グループで交流会をして、お互いにアドバイスをして練習を続ける。</p> <p>自分の選んだ場面をたくさん練習することができた。お父さんやお母さんの気持ちがよく伝わるように声の感じを工夫することができた。</p> <p>〈ふり返り〉</p> <p>6 ふり返りの項目についてまとめの感想と自己評価を行う。</p> <p>7 教師の評価を聞き、次時の学習に願いをもつ。</p>	<p>読む力</p> <p>音読で物語の世界を表現するためには、学習した場面の大切な表現をもとに声の大きさや表情、速さなどを工夫すればよいことに気づき、自分が選んだ場面を音読で表現している。</p>	<p>学ぶ力</p> <p>音読で表現するときには声の大きさや速さ、表情を工夫することが大切であることを確認し、その工夫でどのように違いが出るのかを体験させて、実感させる。</p>						
9	<p>音読で作品を読み深めるために場面の様子を読むときの大切な表現に着目すればいいことに気づき、音読発表会で読み方を工夫したり、仲間の工夫を見つけたたりすることができる。</p>	<p>1 前時のふり返りの紹介を聞いて、考え方や学び方のよさを知る。</p> <p>2 前時までの学習を活かして発表会を開くことを知り、課題を設定する。</p> <p>「一つの花」の世界が想像できる音読発表会を開こう。</p> <p>〈自分学び〉</p> <p>3 音読発表会で表現する時にどんな工夫があるとよいか再度確認し、評価する項目を理解する。(表情・速さ・声の大きさなど)</p> <p>4 一人で音読練習をする。</p> <p>〈学び合い交流会〉</p> <p>5 音読発表会を行う。</p> <p>それぞれの好きな場面を聞いて、場面の様子をうまく表現していると思った。声の大きさや速さも大切だけど、読み取ったことをうまく利用すればいいことが分かった。</p> <p>〈ふり返り〉</p> <p>6 ふり返りの項目についてまとめの感想と自己評価を行う。</p> <p>7 教師の評価を聞き、次時の学習に願いをもつ。</p>	<p>読む力</p> <p>音読で作品を読み深めるために場面の様子を読むときの大切な表現に着目すればいいことに気づき、音読発表会で読み方を工夫したり、仲間の工夫を見つけたたりしている。</p>	<p>学び得た力</p> <p>音読の工夫をうまく使って読んでいる子を、自分学びで価値付けたり、全体指導で確認したりする。</p>						

つけた力を確かめ合う学級T

<p style="text-align: center;">1 0</p>	<p>作品の主題や題名に込められた作者の願いを考えるためには、今までの学習内容を振り返ることやキーワードに着目するとよいことに気づき、自分なりの考えをもち、仲間の意見と比べながら、考えを認め合ったり、深め合ったりすることができる。</p>	<p>1 前時のふり返りの紹介を聞いて、考え方や学び方のよさを知る。 2 前時までの学習をふり返し、物語の最終課題を設定する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「一つの花」に込められた作者の願いは何だろう。</p> <p>〈自分学び〉 3 一人で場面の様子の移り変わりを思い起こしながら、音読をする。 4 今までの学習内容を振り返り、「一つ」の違いについて再度考えて、作者の願いについて自分の考えをまとめる。</p> <p>〈学び合い交流会〉 5 自分の考えを発表して、作者の願いについて話し合う。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">自分の考えをもつことが大切だと分かった。この作品では、戦争と平和がテーマになっていると思う。「一つの花」には、苦しい生活の中でも生きる希望をもってほしいというお父さんの願いが詰まっていた。それをゆみ子やお母さんはしっかりと考えることができたと思う。だから、10年後の生活は明るいと思う。きっと作者は戦争が悲しいものということを伝えたかったのではないかと思う。</p> <p>〈ふり返し〉 6 ふり返りの項目についてまとめの感想と自己評価を行う。 7 教師の評価を聞き、次時の学習に願いをもつ。</p>	<p>読む力</p> <p>作品の主題や題名に込められた作者の願いを考えるためには、今までの学習内容を振り返ることやキーワードに着目するとよいことに気づき、自分なりの考えをもち、仲間の意見と比べながら、考えを認め合ったり、深めたりしている。</p>	<p>学び得た力</p> <p>物語に対する自分なりの考えをもつことができるようになるために、登場人物の行動を表す言葉や会話の文に着目して読んでいくほかに、自分学びのときに対比されているものに注目する読み方があったこと、場面の移り変わりを考えていくことを再度確認する。</p> <p>自分なりの考えがもてることが大切ということを話す。</p>
--	---	---	---	--

日時：11月14日（月） 授業者：橋本 克子（習熟度別少人数指導かがやきコース） 場所：国語少人数教室

1、単元名 「場面をくらべて読もう」 教材名 「一つの花」 今西 祐行

2、本時の目標（6/10）

4場面の様子を読み取るためにはお父さんやお母さんの行動や会話文、「一つ」というキーワードに着目するとよいことが分かり、「一つだけのお花、大事にするんだよう。」や「ゆみ子のにぎっている、一つの花を見つめながら。」をもとにゆみ子の幸せを願うお父さんの思いを読み取ることができる。

3、本時の評価規準〈読むこと〉

4場面の様子を読み取るためにはお父さんやお母さんの行動や会話文、「一つ」というキーワードに着目するとよいことが分かり、「一つだけのお花、大事にするんだよう。」や「ゆみ子のにぎっている、一つの花を見つめながら。」をもとにゆみ子の幸せを願うお父さんの思いを読み取っている。

4、子どもの実態

学ぶ意欲：○場面の様子を読み取ろうと進んで音読したり、繰り返し音読したりしようとする意欲が高く、読み取ったことを仲間に伝えようとする意欲も少しずつ高まってきた。

学ぶ力：○着目した言葉から読み取った内容にはまだ深まりないが、文章中の言葉に着目して考えられる児童は増えてきている。また、少しずつ仲間の考えに付けたしをしながら自分の考えを発表できるようになってきている。

学び得た力：○作品の登場人物の行動や気持ち、会話文、そして主題に関わるキーワードに着目して読み取りを進められるようになってきた。

5、本時の展開（6/10時） 「かがやき」コース ★「かがやき」コースの特徴

	学 習 活 動	研究テーマ具現のための手立て
つ か む	1 前時のふり返りから、学び方のよさを確認する。 2 課題を設定する。 ○★挿絵に描かれている場面の様子を説明する。 ○音読をする。 説明の中からお父さんが「一つの花」をもっていることとゆみ子にあげようとしていることを取り上げ、そのときのお父さんは一体どんな気持ちなのか考えることを投げかける。 「一つだけのお花、大事にするんだよう。」と言ったお父さんの気持ちを考えよう。	<p>〈子どもに自信を持たせる認め・励まし〉 ノートのふり返りを紹介して、前時の児童の学び方や読み取りの気づきのよさを紹介する。【研究内容Ⅳ③】</p> <p>〈願いやあこがれ・子どもの課題意識を引き出す資料の提示〉 本時考える意識を起こすために、4場面の挿絵を提示する。説明させることであらすじを理解し、さらに絵の様子から本時の課題意識をもたせる。【研究内容Ⅲ②】</p>
	3 自分学び ○お父さんを中心に登場人物の行動や会話を表す言葉や「一つだけ」に着目することを確認する。 ○読みながらキーワードやキーセンテンスに線を引く。 ○線を引いたところをもとに、読み取った気持ちをノートに書く。 〈読み取らせた表現例〉 ・「みんなおやりよ」 ・お父さんは、プラットホームのはしっぽの、ごみすて場のような所に、わすれられたようにさいていたコスモスの花を見つけたのです。 ・あわてて帰ってきたお父さんの手には、一輪のコスモスの花がありました。 ・「さあ、一つだけあげよう。一つだけのお花、大事にするんだよう。」 ・お父さんは、それを見てにっこり笑うと、何も言わずに、汽車に乗って行ってしまいました。	<p>〈読むこと領域における課題追究の手立ての明確化〉 ・登場人物の動きやしたことを表す表現を見つける。 ・会話文から気持ちを見つける。 ・「一つ」というキーワードに着目する。 ・見つけた表現から、課題について考えたことをまとめる。【研究内容Ⅲ①】</p>
ふ か め る	4 学び合い交流会 ○★線を引いた表現を発表し、確認する。 ○★ノートに書いた自分の考えを表現をもとに発表する。 ・コスモスなので、きれいな花をあげて喜ばせたかったと思います。 ・大事にするんだよとあるので、コスモスの花を大切にしておきたいなと思います。 ・一つの花にはゆみ子に対して何か願いがあったと思います。 ・お父さんはいなくなるけどしっかり生きてほしいと思っています。	<p>〈子どもの実態に応じた指導・援助の工夫〉 ・本文の言葉を自分なりの言葉に置き換えて表現できていることを自分学びや話し合いの中で評価する。 ・読み取ったことがはっきりするように、「この言葉からお父さんのどんな気持ちがわかるか」「この気持ちはどうしてそのように考えたの」というように考えが課題とすれないように根拠をはっきりさせる。 ・表現を取り上げ、動作化をする。 ・切り返し発問を行う。 「コスモスの花を大切にしておきたいのかな」 「にっこり笑ったのは、どんな思いがあったからかな」 【研究内容Ⅳ①】</p>
	5 まとめ 戦争で食べ物もたくさんはないし、お父さんもいなくなるかもしれない。きっとゆみ子には寂しい思いをさせるだろうが、このたくましくきれいに咲くコスモスのように生きてほしいという願いがあるんだな。お父さんのゆみ子に幸せに生きてほしいという願いがあるんだな。	<p>〈互いの言語能力の高まりを実感できる必然性のある学び合いの工夫〉 ・自分の考えを交流できる学び合いの位置付け ・それぞれの考えを交流することに意味があることの価値付け。 ・話し合いやノートのふり返りで自分と仲間の意見の違いに目を向けて深まったことを実感させる。 【研究内容Ⅲ④】</p>
ま と め る	6 ふりかえり 本時の学習を振り返って、評価項目について自己評価と感想を書く。 7 教師の評価を聞き、次回の学習について見通しをもつ。 〈評価の3つの観点〉 学ぶ意欲：今日の「一つ」にはどんな意味があるのかを考えて読もうとする姿。 学ぶ力：行動や会話の言葉に着目して、お父さんの気持ちを読み取っていく姿。 学び得た力：「一つだけのお花、…」にはお父さんの思いがこめられていたことを読み取れた姿。	<p>〈子どもに自信を持たせる認め・励まし〉 ・話し合いの中で物語文の学び方ができていた児童を価値付ける。 ・授業後には、本時の学習内容における自分の考えの深まりについて書いた感想から、読み取った内容のよさを認めて、ノートに朱書きを入れる。【研究内容Ⅳ③】</p>

日時：11月14日（月） 授業者：道上 修身（習熟度別少人数指導はばたきコース） 場所：4年4組教室

1、単元名 「場面をくらべて読もう」 教材名 「一つの花」 今西 祐行

2、本時の目標（6／10）

4場面の様子を読み取るためにはお父さんやお母さんの行動や会話文、「一つ」というキーワードに着目するとよいことが分かり、「一つだけのお花、大事にするんだよう。」や「ゆみ子のにぎっている、一つの花を見つめながら。」をもとにゆみ子の幸せを願うお父さんの思いを読み取ることができる。

3、本時の評価規準〈読むこと〉

4場面の様子を読み取るためにはお父さんやお母さんの行動や会話文、「一つ」というキーワードに着目するとよいことが分かり、「一つだけのお花、大事にするんだよう。」や「ゆみ子のにぎっている、一つの花を見つめながら。」をもとにゆみ子の幸せを願うお父さんの思いを読み取っている。

4、子どもの実態

学ぶ意欲：○場面の様子を読み取ろうと進んで音読したり、繰り返し音読したりしようとする意欲が高く、読み取ったことを仲間に伝えようとする意欲も少しずつ高まってきた。

学ぶ力：○着目した言葉から読み取った内容にはまだ個人差があるが、文章中の言葉に着目して考えたり、仲間の意見から考えを深めたりできる児童は増えてきている。また、少しずつ仲間の考えと自分の考えを比べながら発表できるようになってきている。

学び得た力：○作品の登場人物の行動や気持ち、会話文、そして主題に関わるキーワードに着目して読み取りを進められるようになってきた。

5、本時の展開 「はばたき」コース ★「はばたき」コースの特徴

	学 習 活 動	研究テーマ具現のための手立て
つ か む	1 前時のふり返りを確認する。 2 課題を設定する。 ○★前時までの内容を振り返り、「一つだけ」の言葉がどのような違いがあったのか確認する。 ○この4場面にも「一つだけ」の言葉があり、題名と同じ「一つの花」もあることを確認して、父親の最後の言葉に着目しながら、「一つの花」についてどんな意味がありそうか想像する。 「一つだけのお花、大事にするんだよ。」と言ったお父さんの気持ちを考えよう。	<p>〈子どもに自信を持たせる認め・励まし〉 ノートのふり返りを紹介して、前時の児童の学び方や読み取りの気づきのよさを紹介する。【研究内容Ⅳ③】</p> <p>〈願いやあこがれ・ 子どもの課題意識を引き出す資料の提示〉 本時考える意識を起こすために、今までに読んできた場面の学習掲示を示す。【研究内容Ⅲ②】</p>
	3 自分学び ○お父さんの気持ちについて、読み取ったことをノートにまとめる。 〈読み取らせたい表現例〉 ・お父さんは、 <u>フラットホームのはしっぽの、ごみすて場のような所に、ぬすられたようにさいていたコスモスの花を見つけたのです。</u> ・ <u>あわてて帰ってきたお父さんの手には、一輪のコスモスの花がありました。</u> ・「さあ、 <u>一つだけあげよう。一つだけのお花、大事にするんだよう。</u> 」 ・お父さんは、それを見て <u>にっこり笑うと、何も言わずに、汽車に乗って行ってしまいました。</u> ・ <u>ゆみ子のにぎっている、一つの花を見つめながら。</u>	<p>〈読むこと領域における課題追究の手立ての明確化〉 ・登場人物の動きやしたことを表す表現を見つける。 ・会話文から気持ちを見つける。 ・「一つ」というキーワードに着目する。 ・見つけた表現から、課題について考えたことをまとめる。【研究内容Ⅲ①】</p>
ふ か め る	4 学び合い交流会 ○★読み取ったことを仲間の意見と関わらせながら発表する。 ○仲間の意見を聞きながら、お父さんの言葉の意味について考えを出し合い、文章を読み深める。 ・「一つ」の大事な意味を知らせたかったと思います。 ・一つを大事にするんだよと言っているの、一つの命を大事にしろという意味があると思います。 ・ゆみ子はこの花のように一人しかいないということを伝えたかったと思います。 ・ごみすて場のようなところにさいていたきれいな花だから、戦争の苦しい中でもしっかり生きてほしいと言いたかったと思います。 ・前の場面で「一つだけの喜び」とあったけど、そのときの気持ちとも似ていると思います。	<p>〈子どもの実態に応じた指導・援助の工夫〉 ・登場人物の行動や会話から見つけたお父さんの気持ちを朱書きで価値付ける。 ・読み取ったことを個人カルテに書き、考えを把握し、話し合いを組織化する。 ・前の場面とどのようにつながっているのか問いかける。 ・読み取ったことを仲間の意見と関わりやすくするために使いたい話形を示す。 ・子どもたちの考えを整理しながら、読み取った内容をさらに深める発問を行う。 「ゆみ子を見るのではなく、最後はゆみ子のにぎっていた一つの花を見つめながら」お父さんは行ってしまった。そこから一つの花にはどんな思いがこめられていると思いますか。【研究内容Ⅳ①】</p>
	5 まとめ 戦争で食べ物もたくさんはないし、お父さんもいなくなるかもしれない。きっとゆみ子には寂しい思いをさせるだろうが、このたくましくきれいに咲くコスモスのように生きてほしいという願いがあるんだ。お父さんのゆみ子に幸せに生きてほしいという願いがあるんだ。	<p>〈互いの言語能力の高まりを実感できる 必然性のある学び合いの工夫〉 ・自分の考えを交流できる学び合いの位置付け。 ・それぞれの考えを交流することに意味があることの価値付け。 ・それぞれの考えを価値付け、どの意見とどの意見が関わるのか教師が板書に位置付ける。【研究内容Ⅲ④】</p>
ま と め る	6 ふりかえり 本時の学習を振り返って、評価項目について自己評価と感想を書く。 7 教師の評価を聞き、次回の学習について見通しをもつ。 〈評価の3つの観点〉 学ぶ意欲：今日の「一つ」にどんな意味があるのかを考えて読もうとする姿。 学ぶ力：行動や会話の言葉に着目することや、友達の意見を自分の考えを比べて考えることで読み深めていく姿。 学び得た力：「一つだけのお花、…」には、お父さんの思いがこめられていることを読み取れた姿。	<p>〈子どもに自信を持たせる認め・励まし〉 ・話し合いの中で物語文の学び方ができていた児童を価値付ける。 ・授業後には、本時の学習内容における自分の考えの深まりについて書いた感想から、読み取った内容のよさを認めて、ノートに朱書きを入れる。【研究内容Ⅳ③】</p>

